

October 2013

10
No.407

やまもと

Yamamoto Town Public Relations

★キラリやまもと！みんなの希望と笑顔が輝くまち



●今月の主な内容

- P 4 防災集団移転促進事業
居住用宅地の買取りに関する留意事項
- P 5 第3回山元町議会定例会報告
- P 6 災害義援金の追加配分のお知らせ
- P10 宮城県知事選挙～前を向き 明日を信じて いざ投票～
- P12 常磐自動車道の橋梁名称が決定！
- P14 平成25年度 山元町総合防災訓練
- P18 まちの話題
- P24 平成26年度保育所入所児童募集
- P26 ぐらしの情報
- P32 黄色の架け橋プロジェクト
菜の花で被災した方々を笑顔に！

「復興いちごの 本格生産がスタート！」

完成したいちご団地大型ハウス内で
いちご苗の定植作業に励む生産者(関連記事P2)

～「チーム山元」心をひとつに～

心をひとつに

～チーム山元 復興へのあゆみ～

いちご団地整備事業 大型鉄骨ハウス完成！ いちご産地復活まで、もう間近!!

8月末、待ちに待った大型鉄骨ハウスが完成し、36戸のいちご農家に貸与されました。

大型鉄骨ハウスでは、生産者の手により3月から大切に育てられてきた苗がさっそく定植され、現在温度や養液などきめ細かな管理のもと



完成した大型鉄骨ハウス内で定植されたいちごの苗

と、10月、11月の収穫・出荷に向け順調な生育を見せています。

9月11日(水)、百理清掃センター北側の大型ハウスを訪問すると、定植作業に汗を流す山下園芸振興会会長の齋藤隆一さんとときよみさん(笠野区) 夫妻の姿がありました。【表紙写真】

震災前は土耕栽培を行っていたという齋藤会長は、「いちご作りには長年携わってきたが、高設ベンチ栽培に関しては1年生」と苦笑いしながらも、「試行錯誤しながら1日も早く自分のものにして、高品質のいちごを生産していきたい。今は、このハウスいっぱい、いちごが実をつけるのを見るのが楽しみです」といちごの苗を見つめながら、微笑

んでいました。

先の大震災では、町全体の96・3%のいちご農家が被災しましたが、今年度36戸が再開したことに伴い、震災前の作付面積の約60%まで回復したことになります。

今後、初収穫・初出荷を迎えることで「仙台いちご」が復活するとともに、町の基幹産業の復興が「いちご」という形となって目に見えてくるのが期待されます。

また、今回整備が完了した36戸のハウス等施設に加え、残る16戸分の施設建設のための調査測量に着手しています。今後とも、いちご団地整備事業についてご理解とご協力をお願いします。

産業振興課 農政班
☎ 37-11119



横浜市から

山元町支援の土 第1便が到着!

5月8日(水)に横浜市が山元、福島県新地両町との間で締結した「震災復興に関する建設資源の広域利用協定」(広報やまもと2013年6月号で紹介)に基づき、横浜市から無償提供された復興事業用土の第1便が、8月27日(火)、海上輸送により相馬港に運び込まれ、初陸揚げされました。



造成地内に次々と運び込まれる「山元町支援の土」。

今回提供された土量は約1000立方メートル。10トンダンプ約200台分に相当します。同港内に仮置きされた土は、さっそく10トンダンプに積み込まれ、新山下駅周辺地区新市街地造成地内に搬入されました。

この「山元町支援の土」については、新市街地造成工事をはじめ、各種復興事業に活用されます。

なお、今年度、横浜市から提供される土は約15万立方メートル。本協定では、平成28年度までに両町あわせて約60万立方メートルが提供される予定となっています。

町では、横浜市など全国の支援自治体、国・県などの関係機関と連携しながら、一日も早い新市街地の整備等に取り組みしていきます。

かつての賑わいと活力を 取り戻すために

磯浜漁港施設 復旧工事に着手

9月20日(金)、磯浜漁港内で磯浜漁港施設災害復旧工事の安全祈願祭が執り行われました。

この日は、漁業関係者、磯区長、地権者、町関係者、町議会議員、受注業者など約50人が参列。参列者一同で、工事期間中の安全と早期の工事完了を祈願しました。



参列者一同、工事期間中の安全と早期の工事完了を祈願

工事発注者を代表し齋藤町長は「町のシンボルのひとつでもある磯浜漁港がかつての賑わいと活力を一日も早く取り戻すことができるよう、努力していきたい」と決意を述べました。

本工事は、震災前の磯浜漁港の姿を取り戻すために、平

成28年2月末までの工期で、最大で40㍍ほど地盤が沈下した施設のかさ上げや約2700個の飛散・流失した消波ブロックを新たに製作・据付けする等、防波堤や護岸、臨港道路などの復旧を進めるものです。

漁協山元支所の大和郁郎運営委員長は「この日が来るのを漁業者一同心待ちにしています。これから秋サケ漁に入りますが、これで一段と力が入ります。今は一日も早い工事の完了を願うばかりです」と漁業復興への第一歩を踏み出した喜びをかみしめていました。

まちづくり整備課
震災復旧班
☎ 37-51111

農水産業関連施設の 工事始まる!

乾燥調整施設

町が整備する水稲用乾燥調整施設の工事が10月上旬から始まります。

施設は、山下地区3カ所、坂元地区3カ所の合計6カ所に建設します。

施設を貸与する経営体は、東日本大震災の津波被害を受けた方で、町で示した一定

規模以上の水田を集積することに同意された方です。来年の収穫時期には、整備した施設を利用し、出荷できるように工事を進めていきます。



乾燥調整施設完成イメージ

産業振興課 農政班
☎ 37-11119

水産業共同利用施設

町が整備する水産業共同利用施設(荷捌所・漁具倉庫)の工事が9月24日(火)から始まりました。

本工事は、被災した荷捌所を復旧するとともに、漁業者の漁具等の保管倉庫を新築するものです。

現在は、福島第一原発事故の風評被害をはじめ、水揚げ自粛や出荷制限等が措置されている魚種があるなど、漁業者にとって非常に厳しい経営状況にあります。特産

品であるホッキ貝の水揚げ再開をはじめとした本町水産業復興のシンボルとなるよう、来年3月までの完成を目指していきます。



産業振興課 地域振興班
☎ 37-11119

一人でも多くの町民との 情報共有を目指して

「ヤマモト元気会」 で情報交換

9月7日(土)、東日本大震災で被災し、主に仙台市内とその周辺の借上げ民間賃貸住宅等で避難生活を送る町民を対象とした「ヤマモト元気会」が太白区中央市民センターで開催されました。

「ヤマモト元気会」は、町を離れ、不慣れた土地で生活する避難町民がお互いの近況報告など情報交換しあう交流の場の提供を目的に、山元町と仙台市の両社会福祉協議会が共催する茶話会です。

4回目の開催となる今回は、町民20人が参加。谷公一復興副大臣とともに出席した齋藤町長は、参加者に対し、復興・復興に向けた町の近況報告や町の復興計画の説明を通じて復興まちづくりへの思いを語ったほか、各テーブルをまわり、町民の皆さんの切実な声に耳を傾けました。



各テーブルを回り、参加した町民の皆さんの声に耳を傾ける齋藤町長

今回の元気会には、山元町の歌を作り隊の皆さんも参加し、同隊が制作した「この町で」を披露。歌に聴き入る参加者のなかには、歌詞に表現された故郷の情景に思いを馳せ、涙ぐむ姿が見られました。町では引き続き、様々な機会をとらえながら、町外で避難生活を送る皆さんを含め、町民の皆さんとの情報共有に努めていきます。

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

平成24年度決算を認定

第3回山元町議会定例会

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、



◇教育委員会委員



◇人権擁護委員

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

○磯、山元北部地区における
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
今回可決された平成25年度
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、
一般会計補正予算のうち、主
なものとしまして、

防災集団移転促進事業における
居住用宅地の買取り

町では、第1種および第2種災害危険区域で被災した居住用宅地について、所有者の希望により買取りを行っています。

買取りを希望する所有者の皆さんからは、昨年7月に「集団移転・災害公営住宅の最終意向確認」とあわせて、「宅地買取り希望申出書」を提出していただきました。町では、申出いただいた土地を買取ることができると確認を行った上で、平成25年2月に開催した第1次契約会から同年9月に開催した第5次契約会までに、約800筆の買取りを終えています。

買取りの対象となる土地の条件

次の条件を満たす居住用宅地に限り、町では買取りを行っています。宅地買取り希望申出書を提出いただいても、条件を満たさない場合には買取りを行うことができません。買取り可能かどうかは、確認作業が終わり次第、個別にお知らせします。

- ①東日本大震災発生時に居住用の建物が建築されていた土地
(震災時に更地であった宅地や農地などは買取りできません)
 - ②登記上、宅地以外の地目であっても、居住用の建物が建築され、現況地目を宅地として
固定資産税が課税されていた土地
- ※居住用の建物が建築中だった場合は、建築確認申請の有無により判断します。
※農地については、自己居住用としての農地転用許可申請の有無により判断します。

買取りの時期

土地を所有されている皆さんの移転の時期に合わせ、順次買取りを行っています。買取りできる時期になりましたら、町から個別に郵送でお知らせします。

買取り価格

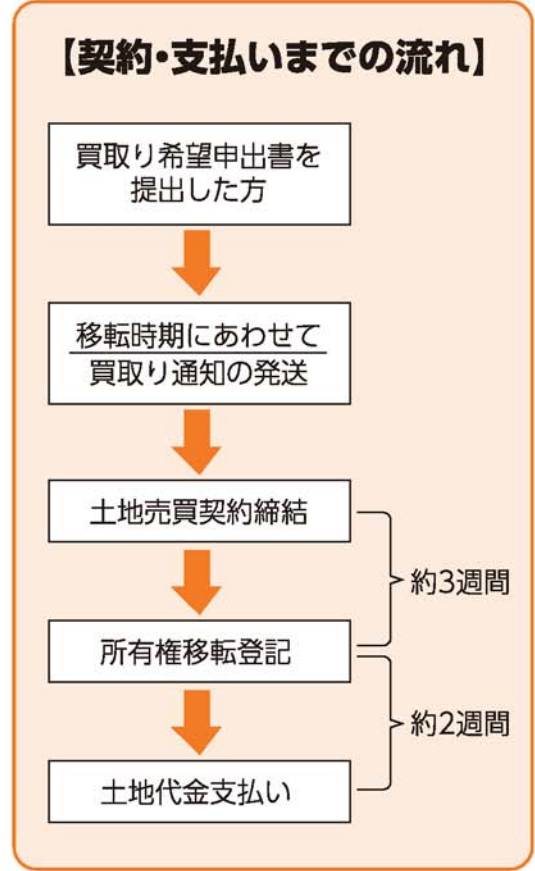
買取り時点における適正な取引価格(不動産鑑定)により算定した額による買取りとなります。買取りできる時期になりましたら、町から個別に郵送でお知らせします。

買取りに関する注意事項

買取り条件を満たす宅地であっても、抵当権等の権利が設定されている土地や相続手続きが終わっていない土地については、買取りを行うことができません。

農地整備事業との関係

上記買取りの対象となる土地の条件に合致する土地については、山元東部地区農地整備事業における宅地等編入同意書を提出いただいた場合であっても、従前の条件で買取ることができます。



**ご協力ください
常磐線復旧のための
環境調査実施中!**

町では、JR東日本が行う常磐線復旧工事にあたり、工事着手前における周辺の騒音や振動の程度、動植物等の生息状況を把握するため、現地調査を実施しています。

調査区域付近の土地に立入りが必要となる場合もありますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

調査区域 町内および亘理町の常磐線復旧ルート周辺

調査予定期間 8月から平成26年11月

調査会社 (株)復建技術コンサルタント
☎022-217-2026

☎用地・鉄道対策室 ☎29-8005

8月末、山元町いちご団地では、栽培に取り組む36戸分の栽培施設が完成し、生産者の皆さんは、10月、11月の収穫・出荷に向け農作業に励んでいるところだ。



第1回山元町いちごシンポジウムを開催します

いちご栽培における最大の課題は、いかにしてコストを軽減し、高収量を得るかが力であり、そのためには、施設内の環境制御と病害虫防除が重要となります。

今回のシンポジウムでは、東北一のいちご生産拠点をもち、いちご栽培における最大の課題は、いかにしてコストを軽減し、高収量を得るかが力であり、そのためには、施設内の環境制御と病害虫防除が重要となります。

日時 10月13日(日)

指している本町から、新たなエネルギー源として太陽光発電システムと、環境に配慮した病害虫防除技術を発信します。

具体的には、
①焼成焼却灰を用いた資源循環型の防草技術
②いちご栽培における微生物農業を活用したIPM(総合的病害虫・雑草管理)の実践
③次世代型太陽光発電システムの施設園芸への展開
④いちご生産を高付加価値産業にしよう!

以上、4つの課題プログラムで講演が行われます。いちご生産に携わる方に限らず、多くの方の参加をお待ちしています。

災害義援金の追加配分のお知らせ

このほど、宮城県災害義援金配分委員会が開催され、国義援金(第5次)および県義援金(第4次)の配分について審議されました。

その結果を受け、町では、山元町義援金配分委員会を開催し、左表のとおり配分額を決定しました。

配分対象となる方々には、左表に基づき、9月18日(水)から指定口座への振り込みを行っていますので、口座のご確認をお願いします。

支給対象	国第5次配分	県第4次配分	町第3次配分	合計	
人的被害	死者・行方不明者	2万円	—	3千円	2万3千円
	災害障害見舞金支給対象者	2万円	—	3千円	2万3千円
津波浸水区域における住家被害	全壊	6万円	1万円	1万円	8万円
	大規模半壊	5万円	—	8千円	5万8千円
	半壊	4万円	—	7千円	4万7千円
母子・父子世帯	5万円	1万円	8千円	6万8千円	
高齢者・障害者施設入所者等	5万円	1万円	8千円	6万8千円	

☎被災者支援室 ☎29-8003

応急仮設住宅の供与期間延長のお知らせ

県内各所に整備されているプレハブ仮設住宅および県内の民間賃貸住宅の借上げによる供与期間がさらに1年間延長されることになりました。

民間賃貸住宅に入居されている方、貸主および不動産業者の皆さんには、前回の再契約と同様、宮城県から順次詳細内容のご案内が通知されます。

また、民間賃貸住宅に関するお問い合わせについては、宮城県応急仮設住宅契約事務センター(☎022-745,0565)をお願いします。

なお、プレハブ仮設住宅に入居されている方については、あらかじめ契約更新等の手続きは必要ありません。

☎被災者支援室 ☎29-8003



山元町の産業振興に向けて

町では現在、山元町震災復興計画に基づき、産業振興および町内外の交流人口拡大を目的とした基本計画の策定を進めています。

その一環として、9月8日(日)に第5回の産業振興復興セミナーを開催し、ご参加いただいた皆さんに、産業振興に向けた取り組みについてお知らせします。

先進事例1
テーマ「多様な担い手が作る、農業の新しいカタチ」とその実践」

講師 (株)農業活性化研究所 代表 大澤信二氏

本町のように定住人口が減少している地域で産業を振興するために有効な手段である交流人口拡大の先進事例として、地域の多様な担い手により成功している愛媛県今治市の直売所の紹介がありました。

先進事例2
テーマ「地域資源、住民の得意技が活かせる多様な観光交流の実践」

講師 くりはらツリーズムネ ツトワークディレクター 大場寿樹氏

交流人口を増やすために、地域の持つ資源や文化を活用した栗原市の実践交流プログラムの事例紹介があり、本町でも実施されてきた同様の活動について参加者が増やすための手法等について具体的な質問がありました。



講師に積極的に質問する参加者

現在、計画策定に向けて作業中ですが、今後、産業振興復興会議等で計画の最終案の検討を行った後に、計画の概要について町民の皆さんにお知らせする機会を設ける予定です。

今後の復興会議等の開催日程については、改めてお知らせします。

☎産業振興課 交流拠点整備推進班 ☎37-1119

**交通安全はみんなの願い
秋の交通安全
総ぐるみ運動が展開**

9月21日(土)から30日(月)までの10日間、全国一斉に秋の交通安全運動が展開され、本町でも町民総ぐるみによる各種啓発運動が実施されました。

■期間中の無事故を祈念して
交通安全運動を翌日に控えた9月20日(金)、町交通指導隊や交通安全母の会など交通安全関係機関出席のもと、交通安全運動出発式が行われ、出席者一同で運動期間中の無事故を祈念しました。

交通安全全鼓笛パレード

期間中には、山下・山下第一・坂元各小学校の交通安全少年団による鼓笛パレードが実施され、校歌などを演奏しながら交通安全を呼びかけました。



交通安全に努めましょう!

**介護保険運営委員会
委員を募集します**

町が設置する介護保険運営委員会委員の任期満了に伴い、新しい委員を次のとおり募集します。

職務内容
山元町介護保険事業の事業計画の策定および進行管理
応募資格
40歳以上の町民で、介護保険運営に関心のある方
募集人数 4人
任期 2年
応募方法
希望する方は、保健福祉課に備え付けの申込用紙に、必要事項を記入の上、左記までお申込みください。

応募期間
10月4日(金)～18日(金)
☎保健福祉課 保険給付班 ☎37-1113

町内放射線関連情報

■空間放射線量の測定結果 (測定日: 9月18日)

問 危機管理室 ☎29-8002

町では、町内 24 か所毎週水曜日に空間放射線量の測定を行っています。
 なお、測定結果については、町ホームページに掲載しているほか、りんごラジオ (FM 放送 80.7MHz) でもお知らせしています。

	施設名	測定値			施設名	測定値	
		50cm	1m			50cm	1m
1	山下第一小学校	0.08	0.08	13	少年の森	0.06	0.06
2	山下小学校 (山下第二小学校)	0.07	0.08	14	工房地球村	0.06	0.05
3	坂元小学校	0.07	0.07	15	中山杉内バス停跡	0.18	0.17
4	山下中学校	0.05	0.07	16	中山仮設住宅バス停前	0.15	0.16
5	坂元中学校	0.06	0.08	17	久保間児童遊園	0.13	0.12
6	山元支援学校	0.03	0.03	18	上平消防ポンプ置場前	0.12	0.12
7	北保育所	0.07	0.06	19	旧JR坂元駅前	0.08	0.07
8	南保育所(老人憩いの家)	0.08	0.08	20	旧JR山下駅前	0.06	0.06
9	やまもと幼稚園	0.03	0.03	21	西牛橋バス停前	0.07	0.07
10	ふじ幼稚園	0.04	0.03	22	笠野北中須賀踏切	0.12	0.12
11	坂元支所	0.06	0.06	23	真庭区民会館	0.07	0.07
12	中央公民館	0.05	0.05	24	山元町役場		0.11

■水道水放射性物質測定結果

問 上下水道事業所 ☎37-1120

水道水の放射性物質測定結果は、下記のとおり「不検出」となっていますので、安心してご使用ください。

(単位: Bq/kg)

採取場所	採取日	放射性ヨウ素 (I-131)	放射性セシウム	
			Cs-134	Cs-137
仙南・仙塩広域水道 南部山浄水場(白石市)	9/10	不検出 (検出下限値0.3)	不検出 (検出下限値0.3)	不検出 (検出下限値0.3)
山元町横山・小平 山下・坂元 深井戸	9/18	不検出 (検出下限値0.5)	不検出 (検出下限値0.7)	不検出 (検出下限値0.7)

【参考】平成24年4月から、食品衛生法に基づく飲料水の基準値が10Bq/kgに設定されたことを受けて、水道水については放射性セシウムの管理目標値として10Bq/kgが設定されました。また、放射性ヨウ素については半減期が短く、規制値を設定する必要性が乏しいことから、基準値の設定対象としないことになりました。

「交通安全ルール」を守るあなたが守られる！

夕暮れ時の交通安全事故防止運動

運動の期間は、10月15日(火)～11月30日(土) ※午後4時ライトオン！夕方は早め点灯に努めましょう！


夕暮れ時は、運転者は、夕暮れ時前方が見えにくくなるので、早めにライトを点灯して速度を抑え、横断歩行者等の早期発見に努めましょう。また、歩行者は明るい目立つ色の服を着用しましょう。

反射材やLED安全ライトの有効活用を努めましょう！

歩行者、自転車利用者は明るい服装と反射材、LED安全ライトを活用して、運転者から発見されやすいように心がけましょう。

運転者は、横断歩行者「最優先」に、優先されたわりの思いやり運転に心がけましょう。歩行者は、横断歩道、信号機を利用した正しい横断を励行しましょう。

「まだ明るくはもう暗い。」
(平成25年スローガン優秀作)



こちら山元町駐在所
駐在さん通信



町民バス「ぐるりん号」の運行状況調査の結果をお知らせします



町では、町民バス「ぐるりん号」の運行改善のため、7月8日(月)から13日(土)まで、バス運行状況調査を実施しました。その概要についてお知らせします。

◆調査結果の概要

○調査日程 7月8日(月)～7月13日(土)

○調査方法 調査員が全路線に乗車し、または停留所に待機し、乗降者数を調査しました。

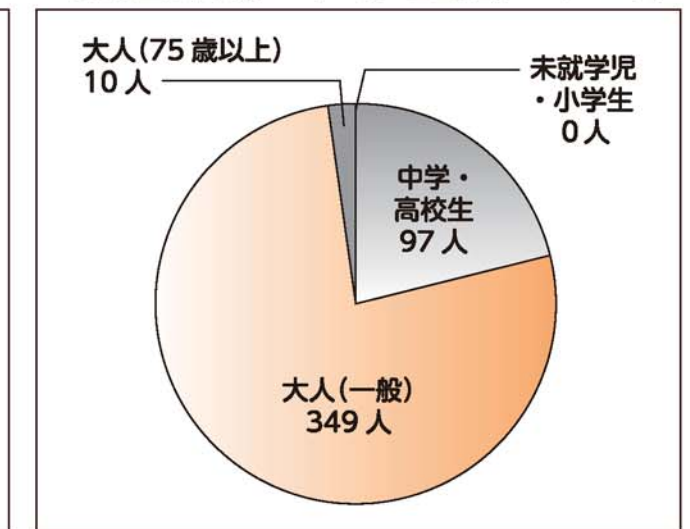
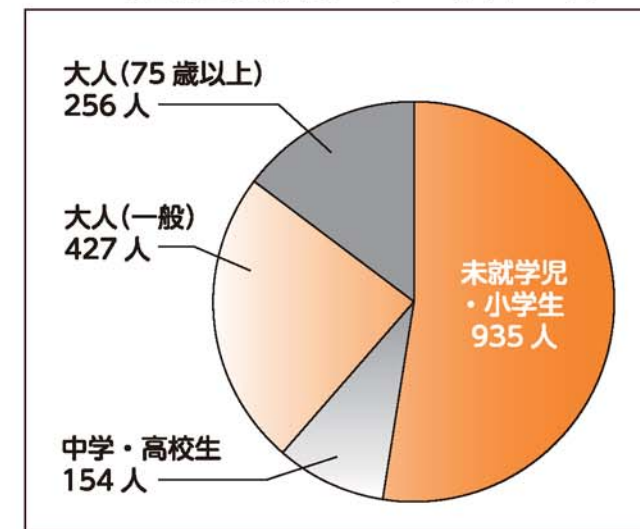
○調査結果

「ぐるりん号」の調査期間中の利用者数 1,772人

※前回調査結果(平成24年12月)1,379人

「浜吉田駅直行バス」の調査期間中の利用者数 456人

※前回調査結果(平成24年12月・亶理駅直行バス) 449人



◆分析結果

○「ぐるりん号」の利用者は前回調査(平成24年12月)と比較すると393人増えています。全路線について前回調査と比べ増加傾向にあり、特に浜吉田駅に向かう浜吉田・花釜線の利用者数が大きく増加しました。平成25年3月の浜吉田駅再開が影響していると思われます。

年齢別に見ると、利用者のお大半は小学生であり、**通学時の混雑が指摘されていた上平線では、現在車両を大きいものに入れ替えて運行しています。**

○「浜吉田駅直行バス」の利用者は、下り(浜吉田駅行)朝6時台の便で特に多く、利用者も学生・大人が大部分を占めることから、仙台方面への通勤・通学に利用されているものと思われます。

○「ぐるりん号」「浜吉田駅直行バス」ともにバス停別の利用者を見ると、バスの起終点となっている役場・浜吉田駅(西)・坂元駅(西)・体育文化センター前を中心に、町内の各病院・各学校前にあるバス停に利用者が集中しています。

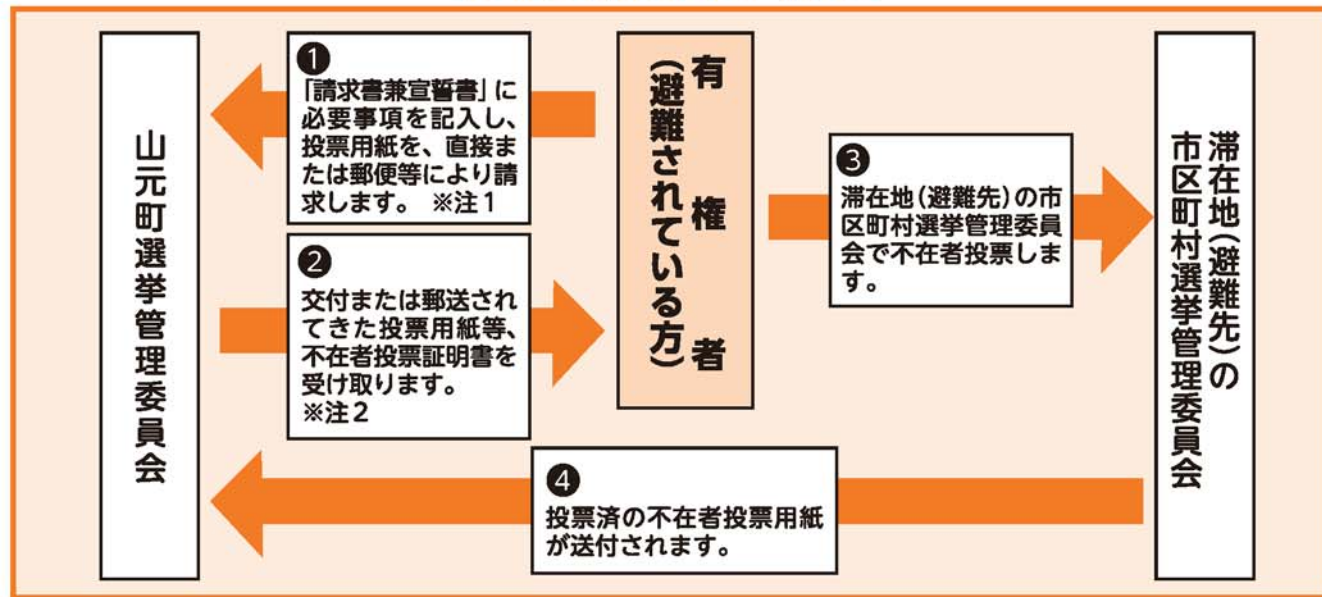
その反面、利用者の少ないバス停もあることから、今後アンケート等により利用状況の確認・改善を検討していきます。

◆次回の調査について

○乗降者数調査だけではつかめないバスの利用状況や改善点を把握するため、今後利用者アンケート調査を実施する予定です。今後のより良い町民バス運行のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

問 企画財政課 企画班 ☎37-1118

【不在者投票の手続き】



※注1 投票用紙の請求は、「請求書兼宣誓書」の提出が必要となります。山元町選挙管理委員会へあらかじめ請求いただくか、山元町ホームページからダウンロードしていただき、必要事項をご記入のうえ、山元町選挙管理委員会までお送りください。滞在先(避難先)へ投票用紙等を送付します。

※注2 投票用紙等が届きましたら、滞在地(避難先)の市区町村選挙管理委員会にご持参ください。不在者投票証明書が入った封筒は、絶対に開封しないでください。開封すると、投票ができなくなります。なお、投票用紙等の発送は、10月9日(水)となります。

<p>第1投票所 山下第一小学校 (八手庭・横山・大平・小平・牛橋)</p>	<p>第2投票所 山元町勤労青少年ホーム (鷺足・山寺・山下・浅生原)</p>	<p>第3投票所 高瀬農村集落多目的センター (高瀬)</p>	<p>第4投票所 合戦原学堂 (合戦原・療養所・新浜・笠野)</p>	<p>第5投票所 真庭区民会館 (真庭・久保間)</p>
-------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------	------------------------------------------------	---------------------------------------------------	---------------------------------------------

第6投票所
坂元小学校
(中山・下郷・町・上平・磯・中浜)

※北側駐車場から投票所までは徒歩のみ通行可となります。
※体育館建設につき、校庭への車の乗り入れは校庭南門からとなりますので、ご注意ください。

第7投票所
山下小学校(体育館)
(花釜)

※投票日当日、山下中学校体育館において、山元町連合父母教師会スポーツ大会開催につき、山下中学校体育館北側駐車場は利用できませんので、ご注意ください。

選挙管理委員会事務局 ☎37-1111

宮城県知事選挙

～前を向き 明日を信じて いざ投票～

告示日 10月10日(木)
投票日 10月27日(日)
投票時間 午前7時から午後7時まで

投票できる方

平成5年10月28日以前に生まれた方で、平成25年7月9日以前から引き続き山元町に住民登録をして選挙人名簿に登録されている方

住所を移された方へ

宮城県知事選挙においては、平成25年7月10日以降に宮城県内の他の市町村から現在住んでいる市町村に住所を移された方は、いずれかの市町村から「引き続き宮城

入場券の送付

投票所入場券は、ハガキにして各世帯に郵送します。届いたらシールをはがし、内容を確認してください。投票所へはハガキで切り離して各自が持参してください。
なお、投票所入場券については、10月上旬の郵送を予定しています。
※震災等の影響により、入場券が届くのが遅れることや届かないことも想定されます。入場券が届かなくても、期日前投票所または当日投票所にて、本人確認のうえ投票することが出来ます。投票所の受付係にお申し出ください。

期日前投票

投票日に仕事のある方、レ

滞在地、避難先における市区町村における不在者投票

旅行や仕事のために、滞在地(山元町以外)で行う不在者投票や病院、老人ホームなどで行う不在者投票は、従来どおり行われます。
また、震災により他の市区町村へ避難されている方は、避難先の市区町村の選挙管理委員会にて不在者投票が出来ます。次の「不在者投票の手続き」を参考に手続きをお願いします。

期間 10月11日(金) から10月26日(土)まで

時間 午前8時30分 から午後8時まで

場所 役場庁舎 第一会議室

持参する物 投票所入場券

ジヤールや買い物などの私用で投票区外へ出かける方、病气や出産などで入院予定の方は、期日前投票が出来ます。なお、期日前投票期間における期日前投票所(役場庁舎)では、どの投票区の方でも投票することが出来ます。

郵便等による不在者投票

期間 10月11日(金) から10月26日(土)まで

時間・場所 受付時間および場所については、滞在地(避難先)の市区町村選挙管理委員会にご確認ください。

持参する物 交付または郵送された投票用紙および不在者投票証明書等

身体障害者手帳や戦傷病者手帳を持っていて一定の要件に該当する方、または障害の程度が一定の要件に当てはまると知事が証明した方のほか、介護保険の被保険者証に「要介護5」と記載のある方は、郵便等で不在者投票をすることが出来ます。事前に手続きが必要ですので、選挙管理委員会までご連絡をお願いします。

代理投票と点字投票

体が不自由な方には、代理投票の制度があります。身体障害のため自分で候補者の

その他留意事項

名前を書くことができない場合は、投票所で受付係に申し出ると係員が代わって投票用紙に記載します。投票の秘密は絶対に守られます。また、目の不自由な方は、点字投票が出来ます。

○ 投票所は、9月26日現在で住民登録をしている区域の投票区の投票所となります。したがって、避難している住所地、応急仮設住宅等に引っ越したとしても、転居届を提出しない限り、住民登録をしている区域の投票区の投票所で投票を行うこととなりますので、ご注意ください。

○ 町民バスは、日曜・祝日を除き無料で町内を運行しています。交通手段等がない方は、期日前投票所までの交通手段の一つとして活用ください。

なお、投票日当日(10月27日)は、日曜のため運行していませんので、ご注意ください。

開票は即日開票です
▶日時 10月27日(日) 午後8時から ▶場所 町中央公民館2階 大ホール





山元東部地区農地整備事業の進捗状況

◆推進委員会設立総会を開催

9月2日(月)、中央公民館において、山元東部地区ほ場整備事業推進委員会設立総会が開催されました。

甚大な津波被害を受けた東部沿岸域の農地復興を目指し、牛橋、花釜、笠野、新浜、町、中浜、磯の7行政区から推薦された96人に対し、町長から委嘱状が交付されました。今後推進委員の皆さんは、各地区の代表として農地整備事業に関する様々な検討を行っていくこととなります。

9月9日(月)には、第2回目の推進委員会を開催し、整備計画の素案をもとに委員の方々と協議を行いました。今後も継続して協議を重ね、合意形成を得ながら計画を決定していきます。また、推進委員会で決定した計画案については、随時集落説明会等を開催し、関係する権利者の方々に説明していきますので、その際は、ぜひご出席をお願いします。



9月2日開催の推進委員会設立総会の様子

◆非農用地所有者説明会を開催

当地区の事業計画区域には、非農用地も多数存在することから、当事業により、農地だけでなく、宅地跡地や雑種地等の非農用地についても事業区域内に含め、土地改良法の換地制度を活用し、土地の再配置を行い農地や非農用地の団地化を行うこととしています。

9月11日(水)、12日(木)には、中央公民館および坂元公民館において、非農用地所有者の方々を対象とした説明会を開催しました。説明会では、事務局から311人の参加者に対し土地利用の整序化や事業の計画概要等について説明し、理解を求めました。

なお、具体的な非農用地の土地利用計画については、十分な検討を要することから、引き続き、皆さんからご意見をいただきながら進めていきます。



9月11日開催の非農用地所有者説明会の様子

◆非農用地所有者への同意徴集

現在、対象となる非農用地所有者の方々に対し、宅地等地区編入同意書を送付させていただいています。本同意書は、津波で被災し点在している対象地を集団化し再配置することにより、将来的に有効活用できる手段として、農地整備事業範囲に入っていただくためのものです。復興に向けた将来の土地利用のため、ご協力をお願いします。

なお、事業に対するご質問やご意見等については、下記までお願いします。

☎ 農業基盤整備推進室 ☎29-8007

町の将来を担う子どもたちから公募 常磐自動車道の橋梁名称が決定!

町とNEXCO 東日本仙台工事事務所は、「常磐自動車道が震災復興に貢献し、未永く地域の方から愛されるように」との思いを込め、町内に架け渡される12橋のうち、代表的な3橋の名称について、町内の小・中学生に公募しました。

その結果、164もの作品が寄せられ、そのうち、最優秀賞を受賞した次の3作品が新橋梁名に決定しました。

新橋梁名：久保間にじの橋
命名者 坂元小学校4年 岡本 楓花さん

新橋梁名：森のりんごばし
命名者 山下第二小学校2年 鈴木 心結さん

新橋梁名：山元未来橋
命名者 山下小学校5年 佐藤 綾音さん

※各賞の受賞者は、11月23日(土・祝)開催の「ふれあい産業祭」の席上で、表彰される予定です。

☎ まちづくり整備課 施設管理班 ☎37-5111

シリーズ「安全な工事のために」⑮ 常磐道建設工事

常磐道建設工事は、小平地内の山元インターチェンジから福島県境まで、延長10*の区間の工事を行っています。

現在、橋梁【写真①】やカルバートボックス(常磐道下を横断する通路用トンネル)【写真②】を施工しており、

今後は、常磐道本線の舗装工事等、平成26年度開通に向け、安全に配慮しながら工事を進めていきます。なお、本工事に伴って大型車両等工事関係車両が多数往来しており、皆さんにはご迷惑をおかけしていますが、交通ルール・マナーの遵守、誘導員の配置など、交通事故ゼロに努めていきますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。



写真① 橋梁工事(久保間地内)



写真② カルバートボックス工事(麓足地内)

☎ 山元町工事安全協議会事務局 まちづくり整備課 施設管理班 ☎37-5111
東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台工事事務所 ☎022-248-4551(代表)



①



④



③



②

①避難者の受付(坂元中学校) ②避難情報をはじめ、タイムリーな情報発信を行うりんごラジオ
③災害対策本部では本番さながらの机上訓練を実施 ④町内各地に配置された団員を通じて情報収集を行う消防団本部

また、東日本大震災で多くの人々が家族や友人の安否を確認できなかった教訓を生かそうと、河北新報社が町から提供を受けた避難者受付簿に基づき掲載した「写外」を作成・発行する訓練も実施されました。

今回開設した3カ所の避難所では、参加者の協力のもと、安否確認のための避難者受付訓練と避難に関するアンケート調査を実施。メイン会場となった山下中学校では、さらに、給水車による給水活動、自衛隊隊友会による「芋がゆ」の配給や婦人防火クラブによる「おにぎり」の炊き出しなど、本番さながらの実地訓練が行われたほか、仙台管区気象台の特別警報に関するミニ講演会や関係団体等による防災用品の展示など、町民の皆さんの防災意識をより一層高めるための防災イベントも行われました。

避難所において 各種訓練を実施

60台の車が行列をなしたほか、高瀬交差点でも、沿岸部から西に向かう車で最大約400台の渋滞発生が確認されました。



大震災での経験が生き、炊き出しはスムーズに
山元町婦人防火クラブ連合会会長 阿部 弘子さん(中山区)【写真左側】

先の大震災では、炊き出しを通じて「食」は生きるための基本また「食」が生きる希望の光になることそして、私たちの任務はその重要な部分を担っていることを思い知らされました。今回の訓練では、1,000人分のおにぎりの炊き出しを行いました。大震災での経験が生き、要領よくスムーズに作業を進めることができました。

でも、今は私たちの活躍する場が来ないことを切に願うばかりです。



ただや魚店交差点～国道6号交差点付近

平成25年度 山元町総合防災訓練 車による津波避難訓練で課題を検証

8月31日(土)、東日本大震災後初めてとなる町民参加型による総合防災訓練を実施し、約3,000人の町民が参加しました。
今回の防災訓練は、沿岸部から高台まで距離があり、車による避難が必要不可欠である町の現状を踏まえて、沿岸地域の住民や町内で復旧・復興事業に従事する工事関係者に車による避難を呼びかけ、浜通り地区から丘通り地区までの車による避難の課題検証と分析を行い、今後の防災体制に役立てることを目的に行ったものです。

各ルートともおおむねスムーズに移動できたものの、ただや魚店前交差点から山下中学校に続く山下小学校前交差点にかけて、一時50

町内では、町からの避難広報を合図に、住民や工事関係者など約3,000人、浜通りからの乗用車や工事関係車両など約650台が、町があらかじめ示した避難ルートに沿って、山下第一小学校、山下中学校、坂元中学校の3カ所の避難所を目指して避難を開始。

町では、町からの避難広報を合図に、住民や工事関係者など約3,000人、浜通りからの乗用車や工事関係車両など約650台が、町があらかじめ示した避難ルートに沿って、山下第一小学校、山下中学校、坂元中学校の3カ所の避難所を目指して避難を開始。

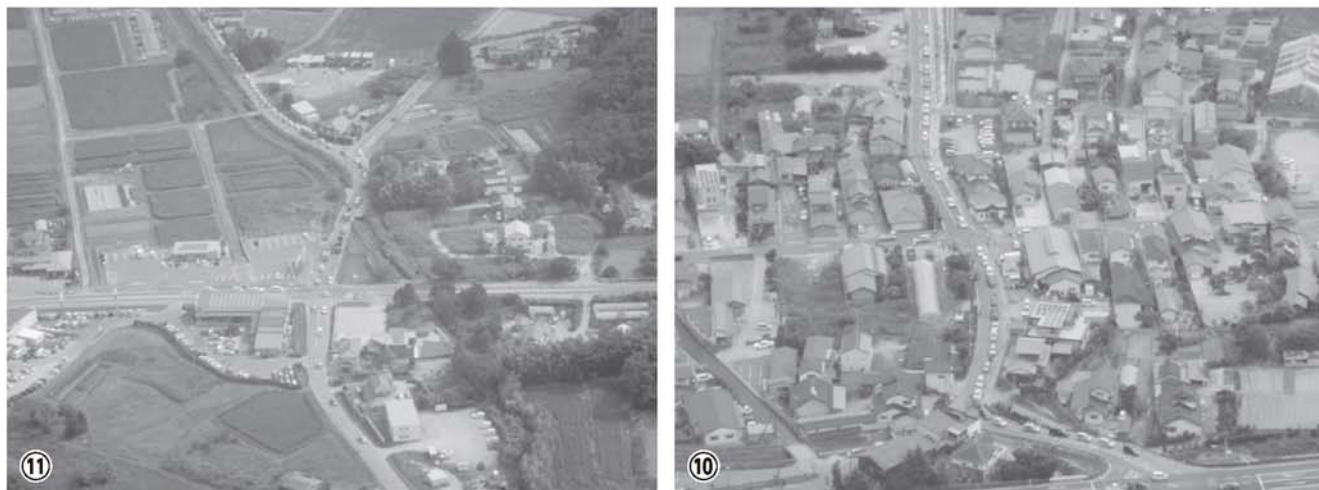
今回は、「9時に宮城県沖を震源とする震度6強の巨大地震が発生し、沿岸部に大津波警報が発令され、約40分後には津波が到達する」という想定のもとに、各種訓練が実施されました。

車約650台が 津波避難

町防災の要として、消防技術の練磨に努める
山元町消防団団長 伊藤 由信さん(山下区)

一部無線トランシーバーがうまく届かない場面が発生し情報伝達手段に課題を残しましたが、団員一人ひとりが臨機応変に対応することができ、総じてスムーズに任務を遂行できました。しかし、これにおごることなく、町民の生命・財産を守る「町防災の要」であることを念頭に、今後の有事に備え、より一層訓練に精進していきたいと思います。





⑩山下小学校前国道6号交差点周辺の渋滞状況 ⑪高瀬交差点付近の渋滞状況
⑫宮城県防災ヘリコプターに齋藤町長が乗り込み、上空から町内避難路の渋滞状況を確認
⑬避難ルート上の主要な交差点付近には、定点カメラとスタッフが常駐し、渋滞の状況をつぶさに確認



⑤婦人防火クラブの皆さんによる炊き出しおにぎりを避難者に配布する自衛隊隊友会の皆さん
⑥山下中学校周辺も避難する車で大渋滞 ⑦早朝から1,000人分の炊き出しおにぎりの準備に大忙しの婦人防火クラブの皆さん
⑧山下中学校体育館に設置された各種防災ブース(仙台管区気象台) ⑨河北新報社が当日作成・発行した「訓練号外」

東日本大震災の教訓を踏まえ、今回の防災訓練では、浜通り地区からの速やかな避難行動が可能であるかを重要な訓練の課題として位置付け、車による避難訓練をモデル的に実施しました。当日は、実に3,000人ものご参加をいただき、町民の皆さんの防災に対する意識の高さを痛感したところであります。

今回、消防団等関係団体の方々と地域の皆さんとのつながりを密にし、浜通り地区と丘通り地区との連携を意識した実践的な合同訓練が実現できたことは、復興過程にあるわが町にとってとても重要なことです。

今後とも、様々な災害に対して、迅速かつ的確に対応できるよう、関係機関との連携強化はもとより、消防・防災体制のより一層の充実強化を図り、引き続き町民の皆さんの安全・安心の確保のために、たゆまぬ努力をしていきます。



町長 齋藤 俊夫

**町民の安全・安心確保のために、
たゆまぬ努力を！**

再び自然が私たちに牙をむく日は、いつやってくるかわかりません。この機会にもう一度、自分の身は自分で守る。自分の地域は地域で守る。という意識を持ち、家族や地域で災害対策について考えてみましょう！

**新たな防災体制
再構築のために**


今回の車避難訓練においては、避難ルート上の主要な交差点等における定点カメラによる記録や車両による追尾調査、また、宮城県防災ヘリコプターを活用し、上空から避難路の渋滞状況を確認するなど、現状把握のため、様々な形で情報収集を行いました。

町では今後、東北大学災害科学国際研究所と連携し、収集した資料・データをもとに課題の検証・分析を行い、「自助・共助」が十分に機能する町民の皆さんと行政が一体となった災害に強い新たな防災体制の構築につなげていきます。

訓練に参加して
木田 弘隆さん・好子さん(牛橋区)

当初は町から示された避難ルートを通行していましたが、途中混み始めてきたのでルートを変更。その結果、わりと短時間で山下第一小学校に到着することができました。

しかし、実際に地震が起きた場合には、今回のようにうまくはいかないと思いますので、日ごろから避難を意識し、複数の避難ルートを決めておくことが大切だと思いました。もう起きてほしくありませんが、常に危機意識を持ちながら生活していきたいです。





町内で行われたイベントや学校行事、町の出来事などを紹介します。

バレーボールを通じて交流深める

全日本バレー女子チームが坂元中学校を訪問

8月22日(木)、全日本バレーボール女子チームの選手ら24人が坂元中学校を訪れ、同校生徒らと約1時間30分にわたり交流しました。

交流会では、選手と生徒らがグループごとに分かれ、バレーボールを使った競走、アンダーパスやレシーブなどを楽しみました。また、木村沙織キャプテンや江畑幸子選手らがアタックを披露。同校バレーボール部の女子生徒らがコートに入り、世界レベルの強打をレシーブすると、会場内からは大歓声が沸き起こりました。

3年生の岩佐実奈さん(真庭区)は、「選手の皆さんと一緒にプレーしてみても、高校に行ってもまたバレーボールを続けたいという気持ちになりました。今日は本当に楽しかったです」と興奮気味に心境を話してく

れました。

また、宮城県出身の佐藤あり沙選手は生徒に向けて、「私はこれまでたくさんの方々に支えられてここまですることができました。それと同じように皆さんをたくさんの方が支え、応援しているということを忘れずにこれからも頑張ってください!」とエールを贈っていました。



▲交流を深めた選手とともに記念撮影

山元町が爆笑の渦に

「真打ち競演」公開ラジオ収録

8月31日(土)、中央公民館大ホールを会場に、NHKラジオ「真打ち競演」の公開収録が行われました。

収録に先立ち行われた自称「山元町の真打ち」、齋藤町長のジョークを交えた開会あいさつで会場を和ませたところで、いよいよ落語、漫才、漫談の芸を極めた名人芸がスタート。

ギター漫談でお馴染みの堺すむさんと8歳の女の子との掛け合いトークなど、各人の名人芸に、観覧した子どもからお年寄りまで約500人の来場者は、終始、爆笑の渦に巻き込まれていました。

なお、この番組は、11月2日(土)と9日(土)の2週にわたり、NHKラジオ第1(AM放送 891KHz)で午前10時5分から放送される予定です。ぜひお聞き逃しなく!



▲松鶴家千とせさんによる漫談

※「真打ち競演」とは、落語、漫才、漫談等、その道の芸を極めた真打が出演し、珠玉の話芸を披露するNHKラジオの番組。

ダンスで被災された方々を元気づけたい!

福岡大学附属若葉高校ダンス部が公演

全日本高校ダンスフェスティバルで3連覇を達成するなど、数々の大会を制してきた名門福岡大学附属若葉高校ダンス部36人が、8月25日(日)、中央公民館大ホールで創作ダンス公演を行いました。

この公演は、被災された方々の明日への活力になればとの願いから同校が企画したもので、本町には、昨年に引き続き、2回目の訪問となります。



▲若さみなぎるエネルギッシュなダンスを披露

公演では、鬼気迫るものからよさこいまで、様々なジャンルの9つの創作ダンスを披露。その中には、津波被害を受けた山元町で復興していく人々の姿を表現したものもあり、観客の皆さんは、演技を披露する部員たちの圧倒的なエネルギーとその素晴らしい踊りの数々に、終始くぎ付けとなっていました。

佐藤和子さん(山下区)からは、「皆さんに力をいただき、感謝です。あの素晴らしい演技には涙が止まらなかった」との感激の言葉が聞かれました。

3年ぶりに開催

山元町敬老会

9月15日(日)、東日本大震災後初となる山元町敬老会が中央公民館大ホールで開催されました。今回の招待者(77歳・88歳・90歳以上)は、609人。当日は141人が出席し、お互いの健康と長寿を祝いました。

式典で齋藤町長が「皆さんのお元気な姿を何よりも喜び申し上げますとともに、引き続き元気で過ごされ、町の復興を見守っていただきますようお願いいたします」とあいさつ。これに対し、出席者を代表して岩佐一男さん(浅生原区)がお礼の言葉とともに「かつての緑豊かな山元町を取り戻すために、これまで培ってきた知識や経験を生かせないかと思っていますので、ぜひお役立ていただきたい」と心境を述べました。



▲久しぶりの再会に手を取り合い、話に花を咲かせる参加者

▶招待者を代表しお礼の言葉を述べる岩佐さん



また、式典終了後の「笑顔でつむぐ和〜次世代へ〜」と題したアトラクションでは、南・北保育所4、5歳児によるお遊戯や津軽三味線日本一の柴田三兄弟(利府町)による素晴らしい演奏が披露され、招待者の皆さんは手拍子を打ったり、□ずさんだりしながら楽しいひとときを過ごされました。



▲よさこいソーランロック(南保育所・右)・童謡を合唱(北保育所・左)



▶柴田三兄弟の一条乱れぬ演奏は、参加者一同を魅了



▲趣向を凝らしたアトラクションに、参加者の皆さんは楽しいひとときを過ごしました

山元町の77歳以上の方は、9月1日現在で2,079人、最高齢者は105歳の鈴木エナさん(横山区)です。

安全・確実・迅速に!

消防団秋季消防演習(ポンプ操法競技会)

9月15日(日)、山元町消防団による秋季消防演習が実施されました。

消防演習は、団員の消防技術向上や士気高揚、規律の確保を図ることなどを目的として、礼式訓練や部隊訓練、ポンプ操法訓練などを中心に、毎年春・秋2回実施しています。

今回の演習では、消火活動時の基本となる消防ポンプ操法の技術向上、さらには郷土愛精神の醸成を図るため、平成18年度以来7年振りとなる各班対抗による「消防ポンプ操法競技会」を実施しました。

各班とも、雨天による悪条件にもかかわらず、この日に向けて重ねてきた厳しい訓練の成果をいかに発揮。その素晴らしい操法技術に、惜しめない拍手が送られました。

なお、成績は右記のとおりです。



▲迅速かつ確実なポンプ操法を披露する団員

- ◇優勝 第1分団第3班(大平区)
- ◇準優勝 第1分団第4班(小平区)
- ◇第3位 第4分団第1班(久保間区)

近年多発する自然災害において、全国各地で活躍する消防団員を目にします。本町でも、地域の安全・安心を守るため、団員は日々消防技術の向上に努めています。



優良スポーツ個人表彰を受賞

スポーツ推進委員の谷津千枝さん(花笠区)が、8月25日(日)に開催された「宮城ヘルシー2013 ふるさとスポーツ祭仙台管内大会」(大会長 村井県知事)の席上、優良スポーツ個人表彰を受けました。

谷津さんは、地域におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献(特に家庭バレーボールの普及)し、生涯スポーツ振興の顕著な功績が認められ、今回の受賞となったものです。



おめでとうございます!

生涯学習課

坂元小・講堂跡下から遺跡発見
児童たちが発掘現場を見学

町では、坂元小学校講堂建替工事に伴い、建物用地が遺跡(葦首城跡二ノ丸)範囲内であったことから、急ぎよ本格的な発掘調査を8月28日(水)から9月13日(金)まで実施しました。

今回の調査では、元龜3年(1572年)に築城され、明治維新(1868年)まで機能していた「葦首城」の二ノ丸に存在した建物と推定されるもののほか、堀跡や井戸跡から



発掘された葦首城二ノ丸の様子(北から撮影)

江戸時代の陶磁器などが確認されました。

調査終了日(9月13日)には、坂元小学校児童を対象とした発掘現場見学会を実施。児童たちは、普段自分たちが

いつでも どこでも だれでも
生涯学習コーナー

問い合わせ

生涯学習課
中央公民館 37-5116
勤労青少年ホーム
体育文化センター 37-2919
022-211-3685

坂元公民館 38-0415
歴史民俗資料館 37-0040
ふるさと伝承館 37-0040
深山山麓少年の森 37-3150

町内で行われたイベントや学校行事、町の出来事などを紹介します。

みんなの思いをタスキにのせて

巨理郡中学校駅伝競走大会

8月30日(金)、第49回巨理郡中学校駅伝競走大会が角田市陸上競技場を発着とする周回コース(男子6区間 14.60km・女子5区間 11.54km)で行われ、男子は荒浜中学校 A チームが、女子は逢隈中学校 A チームがそれぞれ優勝の栄冠を勝ち取りました。

当日は、太陽がキラキラと照りつけ気温 30 度を超える、選手にとって厳しい状況下、各校の選手の皆さんは、コース沿道からの声援を力に変えて、チームのタスキを少しでも早く次のメンバーにつなごうと、懸命な走りを見せていました。



思いをのせたタスキを仲間へ託す

■町内中学校の主な成績(3位以上・敬称略・○内数字は学年)
○男子3位 山下中学校Aチーム
(武田蒼輝③、品堀清春③、矢口壮哉②、佐藤大海③、鈴木優介③、齋藤耕太②)

思いはひとつ!町の復興のために

山元の未来への種まき会議

9月23日(月・祝)、坂元公民館を会場に、「山元の未来への種まき会議」が開催されました。

この会議は、町内で復興支援等活動に取り組む団体や個人が一堂に会し、町の将来像や夢、希望を語り合うとともに、相互の活動について情報共有を図ることを目的に行われているもので、今回で2回目の開催となります。

当日は、町内のみならず全国各地から、町づくり、コミュニティづくり、地域振興など、様々な分野で町の復興支援に携わる 40 を超える個人や団体等が参加。会議では、各参加者から活動の近況報告が行われるとともに、会議としての今後の方向性などについて、活発な意見交換されました。



▲様々な立場から、町復興に向け活発に意見交換!

同会議発起人の渡邊修次代表(花笠区)は、「皆さん、支援の内容・手段は違えど、“町を復興する”という目標は一緒。それぞれの立場・立ち位置でできることから復興に携わっていけるよう、この会議で議論を重ねてより良い方法を模索していきたい」と意気込みを語っていました。

夢実現に向け、ともに頑張りましょう!

有村智恵プロ、山下中学校を訪問

9月20日(金)、女子プロゴルファーの有村智恵さんが児童たちとの交流を目的に、山下小学校を訪れました。

同校には、震災直後の5月にも慰問しており、今回は、「ぜひ児童たちと交流したい」という本人たつての希望があり、実現したものです。

交流会では、5・6年生 74 人を前に、自らの実体験を通して「夢をあきらめないこと、夢実現のために努力し続けること」の大切さを訴えたほか、ともに給食を食べたり、スナッグゴルフを楽しんだりしながら交流を深めました。



▲有村プロのスーパーショットに、児童たちから大歓声が沸き起りました(スナッグゴルフ)

交流会の最後には、6年生の矢内玲奈さんが代表して「有村さんからもらったたくさんの元気を励みに、これから夢実現に向けて努力していきます。今日は本当にありがとうございました」とお礼を述べると、有村さんからは「これから長い時間をかけて夢や目標をちょっとずつ見つけながら努力していきましょう。これからも一緒に頑張りましょう!」との激励の言葉が贈られました。

第37回町民文化祭

期間 11月1日(金)

問 生涯学習課

※ミニコンサートの出演者も募集中です。詳しくは、左記までお問い合わせください。

出演予定団体
・山元町の歌を作り隊
・グランブルー ほか
※ミニコンサートの出演者も募集中です。詳しくは、左記までお問い合わせください。

山元町復興支援卓球大会を開催します!

山元町卓球協会では、復興支援卓球大会を行います。ぜひご参加ください。

日時 10月27日(日) 9時30分
場所 体育文化センター

種目
①3人編成による団体戦
②小・中・一般
(高校生も含む)
※①、②とも男女の別はありません。

締め切り 10月20日(日)
問 山元町卓球協会作問
38-1248

平成25年度高齢者インフルエンザワクチン接種実施のお知らせ

平成25年度インフルエンザワクチン接種を下記のとおり実施します。
予防接種を希望される方は、下記の指定医療機関にお申し込みください。

【実施期間】 平成25年10月15日(火)
～平成26年1月31日(金)

【対象者】 接種日現在で町内に住所があり、次に該当する方
1 接種前日65歳以上の方
2 60歳以上65歳未満の方であって、心臓、じん臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する方、およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方

【接種回数】 1回

【接種料金】 自己負担金1,200円
(接種費用4,000円のうち2,800円は町が助成)
※生活保護世帯に属する方には接種費用の助成がありません。
※町外に避難されている方や町外施設に長期入所・入院されている方で、予防接種を希望されている方は、保健福祉課健康推進班までお問い合わせください。

【予防接種の受け方】

事前に医療機関に直接電話でご予約ください。予防接種を受ける際は、健康保険証を持参し、医療機関窓口にて提示してください。

保健福祉課 健康推進班 ☎37-1113

【指定医療機関】

予防接種は、次の医療機関での個別接種となります。指定医療機関に直接申し込み、必ず予約してから受診してください。

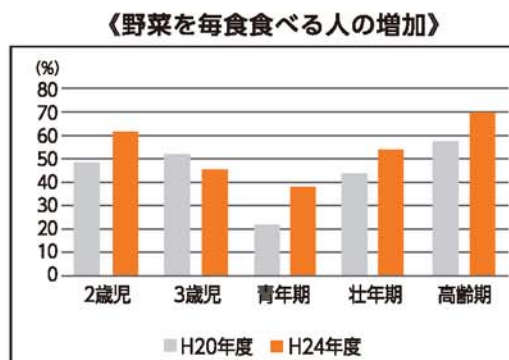
	指定医療機関	電話番号
山元町	菊地内科医院	☎37-3300
	平田外科医院	☎37-4055
	松村クリニック	☎38-0005
	宮城病院	☎37-1131
巨理町	板橋胃腸科肛門科	☎34-8911
	氏家医院	☎34-1320
	大友医院	☎34-1335
	大友医院ヒロミ小児科	☎34-3204
	柿沼循環器科	☎32-2871
	熊谷内科医院	☎34-5140
	国分内科医院	☎34-1301
	佐藤外科内科	☎34-1251
	高橋医院	☎36-2506
	高橋内科乳腺クリニック	☎33-1121
	浜吉田駅前内科	☎33-7377
	三浦クリニック	☎33-1811
三上医院	☎34-3711	
やべ内科クリニックわたり	☎34-3003	
山形外科医院	☎34-3171	

町では、健康増進法に基づき町民の健康づくりの行動指針として、平成16年度に「元気やまもと21計画」を策定し、町民の健康づくりに対する取り組みを進めてきましたが、計画期間が今年度をもって終了することから、現在新たに、平成26年度から10年間を計画期間とする「第2期元気やまもと21計画」を策定しています。

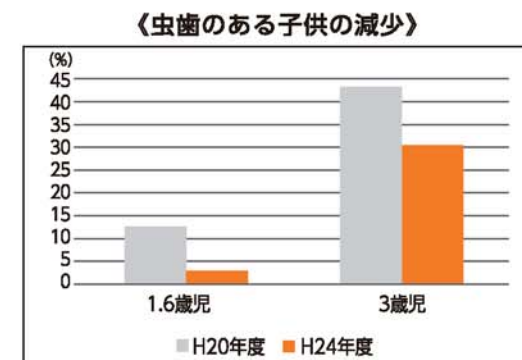
※健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。
そのためには、単に寿命を延ばすだけでなく、健康寿命(※)を延ばすことが大切です。



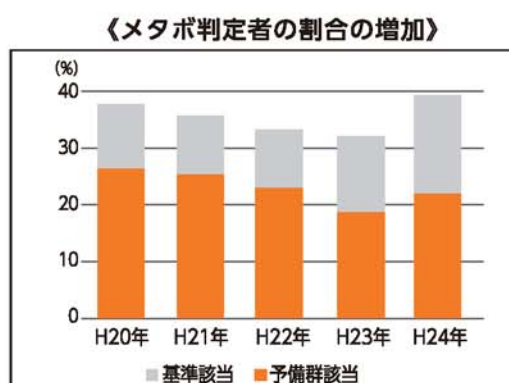
この計画では、ライフステージごとに優先順位を付け、数値目標を設定しています。前回指標とした30項目のうち、「大きく改善したものが6項目、逆に「悪化」したものが10項目ありました。今回はその主なものを紹介します。



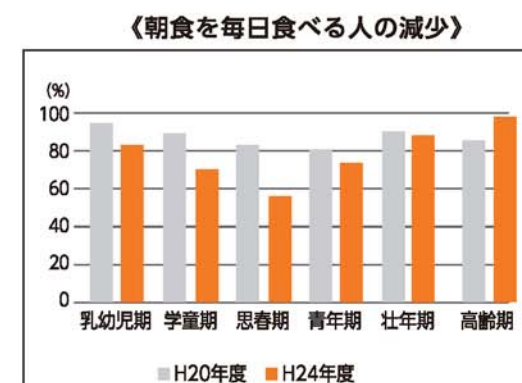
3歳児に関しては減少傾向にありますが、他の年代では増加しています。



3歳児、1・6歳児ともに減少しています。



山元町特定健診結果より



高齢期では増加していますが、乳幼児期以降朝食摂取率が減少しています。

町では、これらの結果を踏まえ、今後10年間、重点的に取り組む項目を検討していきます。

保健福祉課 健康推進班 ☎37-1113

簡単クッキング教室のメニュー

「シンデレラシチュー」

材料 (2人分)

サケ	100g
カボチャ	160g
玉ネギ	100g
人参	40g
ブロッコリー	80g
バター	10g
シチューの素	40g
塩	少々
コショウ	少々
水	250cc
牛乳	50cc

- ①サケは皮と骨を取り除き、一口大の大きさに切る。
- ②カボチャ、玉ネギは一口大の大きさに切る。
- ③ブロッコリーは小房に分ける。
- ④鍋にバターを入れて火にかけ、カボチャ、玉ネギ、人参を炒める。
- ⑤全体に油が回ったら水を加えて野菜がやわらかくなるまで煮る。
- ⑥鮭、ブロッコリー、シチューの素、牛乳を加えて煮込み、塩・コショウで味を整える。

“シンデレラシチュー”は、ふんだんに使用しているカボチャをシンデレラに登場する「カボチャの馬車」に見立てて、名づけました!



◆エネルギー：331kcal
◆タンパク質：17.2g
◆塩分：2.1g



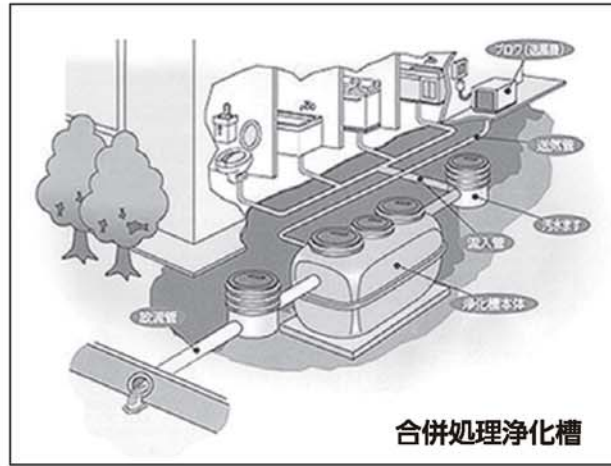
上下水道事業所からののお知らせ



毎年10月1日は「浄化槽の日」

この日は、合併浄化槽の普及促進を図ることを目的に、昭和60年10月1日に制定されました。

合併処理浄化槽は、自動車1台分ほどの敷地に設置できる小規模な装置ですが、下水処理施設と同様に、トイレからのし尿、台所、風呂、洗濯排水等の生活排水を併せて処理し、住み良い暮らし、美しい環境を守る重要な役割を担っています。



合併処理浄化槽

【浄化槽には維持管理が必要です】

浄化槽は、微生物の働きにより生活排水をきれいに浄化していることから、微生物に上手に働いてもらうためには、浄化槽の正しい使い方や維持管理がとても大切です。

浄化槽の維持管理には、保守点検、清掃、検査がありますが、このいずれか一つでも適正に行われなければ、浄化槽の力を100%発揮することはできません。

○保守点検…

浄化槽の正常な機能を維持するため、浄化槽の点検、調整またはこれらに伴う修理をする作業です。

○清掃…

浄化槽の運転に伴って必然的に発生する汚泥等を槽外に引き出し、その引き出し後の槽内の汚泥等を調整すること、その際、これらの作業に伴う単装置や付属機器類の洗浄、清掃等を行う作業です。

○定期検査…

浄化槽使用者に年1回義務づけられており、浄化槽の保守点検や清掃などの維持管理が適正に行われているか否かを判断するもので、維持管理の一環として大変重要な検査です。

なお、浄化槽を自ら維持管理することは、専門的で技術的にも難しいことが多いので、専門業者（保守点検は保守点検業者または浄化槽管理士、清掃は清掃業者）に委託して行う必要があります。

三角コーナー

台所の流しに三角コーナーやネットを取り付け、食べ残しや野菜くずなどを流さないようにしましょう。

食器などの汚れ

食器や鍋についた油污は、不要な紙（布）などで拭いてから洗うようにしましょう。

台所でできる生活排水対策

天ぷら油

天ぷら油は、油こし紙などで汚れを取り除いてくり返し使用し、使いきりましょう。やむを得ず捨てる場合は古紙やポロ布などに染み込ませましょう。

洗剤

洗剤は、石けんなどの分解性の高いものを適量使いましょう。

【浄化槽の良い使い方】

- ①トイレの洗浄水は、十分な量を流す。
- ②便器の掃除には、微生物に影響するような薬剤を使わない。
- ③トイレには、トイレットペーパー以外の異物を流さない。
- ④浄化槽の電源は切らない。また、通気口や送風機の空気取入口はふさがらない。
- ⑤マンホールの上に物を置かず、フタはいつもきちんと閉めておく。
- ⑥消毒剤は切らず、常に消毒されるようにする。
- ⑦台所から、野菜くずや天ぷら油などは流さない。

☎ 上下水道事業所 施設班 ☎37-1120

平成26年度保育所入所児童募集

町では、平成26年度新規に保育所への入所を希望する児童を募集します。現在、入所しているお子さんの継続入所の申し込みは、別途お知らせします。

●募集年齢・定員

保育所名	所在地	電話番号	年齢	延長保育	定員	備考
南保育所	山元町高瀬字合戦原100番地1 (老人憩いの家内)	☎37-5271	0歳～6歳	無	60人	0歳児の受け入れは、生後6カ月からとなります。
北保育所	山元町山寺字町東18番地	☎37-0184	1歳～6歳	有	100人	

●申し込み方法

入所を希望する場合、保健福祉課、坂元支所、各保育所で配布している入所申込書等に必要事項を記入のうえ、必要書類を添えて保健福祉課に提出してください。

なお、今年度申し込みをして待機児童となっている方も、新たに申し込みが必要です。

●受付期間

10月7日(月)から31日(木)までにお申し込みください(土・日・祝日を除く、8時30分～17時15分)。

※年度途中での入所申し込みについては、保健福祉課で随時受付を行っています。

●入所基準

保育所に入所できる児童は、山元町に住所があり、その児童の保護者や同居の親族(祖父母など)が次の①から④のいずれかに該当するために児童を保育することができないと認められる場合となります。

- ① 仕事をしている
- ② 妊娠、出産、病気、心身に障害がある
- ③ 常に病人などの看(介)護をしている
- ④ 災害などの他の特別な事情と認められるとき

注1 求職中でも申し込み可能ですが、入所後2カ月以内に就労できない場合は退所となります。

注2 入所中に育児休業を取得することとなった場合、入所待機児童がない場合に限り、家庭状況等を助産したうえで継続入所が認められます。

注3 母親が出産等の理由に入所を希望する場合には、産前産後各2カ月以内の必要な期間のみ保育の対象となります。

●保育時間

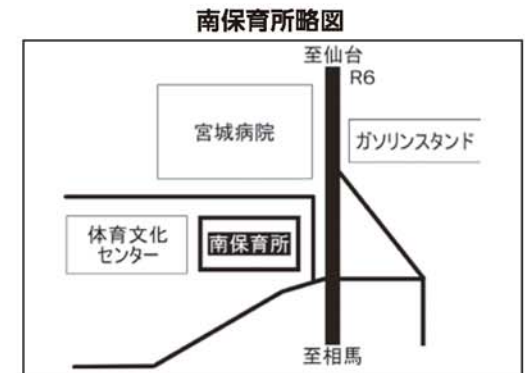
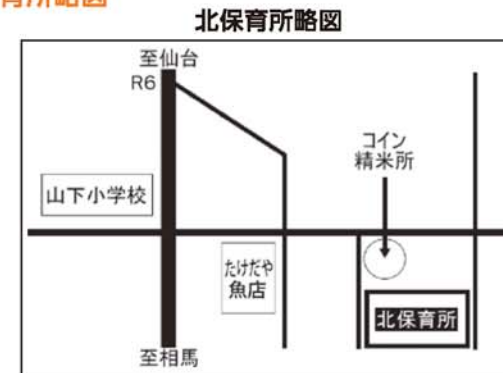
月曜日から土曜日、7時30分から18時まで開所しています。

ただし、北保育所のみ19時まで延長保育を実施しています。

●保育料

児童と同一世帯で生計を一にしている父母、およびそれ以外の扶養義務者(世帯の生計を維持している場合に限る)の前年分の所得税課税額の合計、および前年度の町民税課税状況によって決められます。

●保育所略図



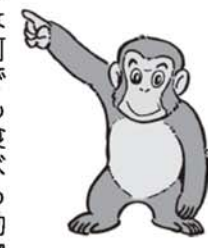
☎ 保健福祉課 すこやか福祉班 ☎37-1113



おしらせ

サルが目撃情報をお寄せください

昨年、収穫期にサルによる農作物への被害が発生しました。今年もサルを目撃した場合は、情報提供をお願いします。



サルは何でも食べる動物で、ほぼ決まったエリアでエサを探して歩きます。また、記憶力がよく、味やエサの場所をすぐ覚えて居るため、安易にサルへの餌づけ等

農地の現状を変更するときには届出が必要

田や畑などの農地に簡易な改良工事(盛土・切土等)をする場合には、事前に農業委員会への届出が必要です。

この届出は、農地を保護し生産性の向上および適正な利用を図ることを目的として定められた「山元町農地の現状変更届出指導要綱」に基づいてのもので、例えば盛土・切土その他の方法による農地の現状および形質変更や、2ヶ月前の農業用施設を建設する場合等が該当します(自然災害等の復旧工事を行う場合等は除く)。

届出の方法は、所定の届出書に現状変更利用計画書、公図、現状写真等を添付して農業委員会に提出してください。農地の現状を変更する際には、忘れずに手続きをお願いいたします。

詳しくは、左記までお問い合わせください。
農業委員会事務局
☎37-5117

生活保護の相談窓口

日時 10月16日(水) 11月6日(水) 10時~15時
場所 役場仮庁舎1階 第3相談室

※当日は、宮城県仙台保健福祉事務所の担当者が相談に応じます。
※前日まで保健福祉課すこやか福祉班に予約してください。

保健福祉課 すこやか福祉班 ☎37-1113

認知症家族交流会

「家族が「認知症」と診断され戸惑っている方、介護で悩んでいる方、介護を経験された方、お互いの経験を話し合いながら気持ちの負担を軽くし、ゆとりある介護を目指しませんか。

自賠責保険・共済の有効期限は切れていませんか?

自賠責保険・共済は、万一の自動車事故の際の基本的な対人賠償を目的として、原動機付自転車を含むすべての自動車に加入が義務づけられており、自賠責保険・共済なしでの運行は法令違反ですのでご注意ください!

4輪車ももちろんですが、特に車検制度のない250CC以下のバイク(原動機付自転車・軽自動車)は、有効期限切れ、かけ忘れにご注意を!

なお、自賠責制度の詳細は内容が <http://www.jibai.jp> からご覧ください。
東北運輸局宮城運輸支局 輸送・監査部門
☎022-2352515

標準営業約款制度「Sマーク」をご存知ですか?

標準営業約款制度は、法律で定められた消費者(利用者)擁護に資するための制度です。
厚生労働大臣認可の約款に

どうぞ、お気軽にご参加ください。

日時 10月23日(水) 13時30分~15時
場所 中央公民館 視聴覚室
内容 座談会(日ごろの介護経験について情報交換)
参加料 無料
申し込み 参加希望者は、10月18日(金)まで、地域包括支援センターに電話でお申し込みください。

地域包括支援センター ☎37-3901

10月21日(月)~27日(日)は「秋の行政相談週間」です

行政相談は、役所(国・県・市町村)や独立行政法人・特殊法人等(郵便局・NTT・高速道路等)の仕事に関して、困っていることや要望したいことについての相談に応じ、その解決のお手伝いをします。
行政相談委員は、自宅でも相談に応じていますが、この期間中には次の日程で特設相談所を開設します。

また、毎月第二金曜日には、役場市民相談室に相談所を開設していますので、お気軽に

軽にご相談ください(相談無料)。

○特設相談所
日時 10月22日(火) 10時~15時
場所 役場第二会議室(1階)
相談員 行政相談委員 清野庄一氏
☎37-1741
☎37-1112

一日行政困りごと相談所(被災者支援特別行政相談所)開設のお知らせ

日時 10月23日(水) 10時~15時
場所 せんだいメディアテーク1階オープンスクエア(仙台市青葉区春日町2-1)
参加機関 仙台法務局その他国の出先機関、宮城県、仙台市、関係団体、仙台弁護士会、東北管区行政評価局、行政相談委員等
☎022-2627839

従って営業することを登録した「理容店」「美容店」「クリーニング店」「めん類飲食店」では、店頭で「Sマーク」を掲げています。



このSマークを店頭に表示しているお店なら、安心・安全・衛生が保証され、皆さんの信頼できるお店選びの目安となります。また、万が一の場合、事故賠償基準に基づいた補償も受けられます。

☎(財)宮城県生活衛生営業指導センター ☎022-343-8763

みやぎシヨブカフェ 台同適性試験&台同企業説明会を開催します

日時 11月22日(金) 13時~17時
場所 仙台市情報・産業プラザ(アエル5階・6階)
内容 台同適性試験、台同企業説明会、採用後のビジネス

仙台調停協会主催「無料相談会」

日時 10月19日(土) 10時~17時
※16時30分受付終了
会場 エル・パーク仙台(141ビル5階)
相談内容 婚姻・遺産相続・親族関係等家事問題、震災関連・金銭貸借・建物賃貸借・交通事故・雇用関係等民事問題
仙台地方裁判所事務局 総務課
☎022-2226115

2013自動車点検強化月間9月~10月

ドライバーの皆さん、車の点検・整備をきちんと行っていますか。愛情こまやかな点検・整備が、人も車も、環境も守ります。
詳しくは、
○ホームページ <http://www.tenken-sei.com>
☎022-2352517
※「2」をプッシュ

定員 40人
※定員に達し次第終了します。
受講料 3000円(テキスト代含む)
申込期間 10月1日(火)~24日(木)
☎29-4492

求職者支援訓練 受講生募集

コース ITビジネス基礎科
訓練内容 パソコン基本操作、ワード・エクセル基礎・応用など
訓練期間 3カ月
※11月12日(火)~平成26年2月10日(月)
定員 15人
受講料 無料
※テキスト代12495円は自己負担
申込期間 9月9日(月)~10月16日(水)
※居住地を管轄する公共職業安定所を通じてお申し込みください
実施場所 パソコンドクター岩沼教室
☎25-2575

ハローワーク仙台による巡回相談

ハローワーク仙台では、山元、亶理両町で下記のとおり巡回相談を実施しています。

ご相談は予約制です。下記連絡先に、前日までに電話予約のうえお越しください。

なお、ご予約のない相談は対応できる場合に限り、行いますのでご了承願います。

10月の巡回相談スケジュール

実施場所	日程	相談開始 ～終了時刻
中央公民館	視聴覚室	10月25日(金) 10:30~12:30
坂元公民館	談話室	13:30~14:50
亶理町 中央公民館	視聴覚室	10月 2日(水)
	視聴覚室	10月 9日(水)
	視聴覚室	10月16日(水)
	第1創作室	10月23日(水)
	会議室	10月30日(水)
	会議室	11月 6日(水)

巡回相談の内容

- 初めてハローワークを利用する方については、ハローワークに登録(求職登録)することができます。
- お仕事探しに関するさまざまなご相談をすることができます。
- ハローワーク仙台が毎日発行している「求人ホットニュース」をはじめとした新着の求人情報をお持ちします。
- 応募したい求人が見つかった場合は、その場で求人先に連絡し紹介します。
- 仮設住宅にお住まいの方以外の皆さんにも多数ご利用いただいています。



ハローワーク仙台職業紹介第二部門
亶理・山元巡回担当
☎022-299-8819

イベント

JR 駅長オススメの
小さな旅

山元町の山里を楽しむ
～深山登山とりんご狩り～

深山は、標高287mで年間を通して登れる山として、町民や登山者から親しまれています。
山頂から太平洋や蔵王の山並みを堪能した後は、旬もぎたてりんごをガブリ!山元町の秋を楽しめる旅です。
日時 11月2日(土)
10時30分～(約6時間)

定員 30人
※定員になり次第申込みを締め切ります。
参加費 500円
※りんご狩り料金
行程 山下駅(役場)→ウッドクラフト無房→深山山頂→りんご狩り→山下駅(役場)
歩行距離 約8km
その他 深山には一部勾配の急な箇所がありますので、トレッキングに適した靴でのご参加ください。
※昼食・雨具等をご持参ください。
問 由 JR岩沼駅
☎22-2424

秋の七ヶ宿ダム
休日見学会

係員によるダムの説明・ビデオ視聴のほか、ダム堤体内部の監査廊(※見学を行います)。
※ダムの中を点検・管理するための通路。
開催日時・見学コース
○Aコース(60分)
10月26日(土)
①10時②14時③15時
○Bコース(90分)
10月5日(土)
①10時②14時
※Bコースは、監査廊地下3階(ダム堤体下)まで見学。
※事前申し込み不要。災害等



皆さん、ぜひ参加してみませんか

により、変更や中止となる場合もあります。
場所 七ヶ宿ダム管理所
七ヶ宿ダム管理所
0120-167877
http://www.thr.milt.go.jp
shichika/index.html

税金情報

今月は、町県民税(第3期)と国民健康保険税(第4期)の納期です。
忘れず納期限【10月31日(木)】までに納入しましょう!
納税は、便利・安全・確実な口座振替で!

東日本大震災に係る固定資産税の特例

東日本大震災により被災した住宅用地や家屋の代替として取得した土地および家屋について、一定の要件に該当する場合、固定資産税の特例が受けられます。

東日本大震災に係る被災代替住宅用地の特例

東日本大震災により滅失・損壊した住宅の敷地(被災住宅用地)の代替土地を取得した場合、当該代替土地のうち、被災住宅用地に相当する分について、取得の翌年から3年度分、住宅用地とみなします。

東日本大震災に係る被災代替家屋の特例

東日本大震災により滅失・損壊した家屋(被災家屋)の代替家屋(被災代替家屋)を取得、または改築した場合、当該被災代替家屋に係る税額のうち、被災家屋の床面積相当分について、取得の翌年から4年度分は2分の1、その後2年度分は3分の1を減額します。

※上記特例のほか、被災した償却資産、原子力災害による警戒区域内に所在する住宅用地および家屋の代替特例の制度も創設されています。

この特例の詳細等については、町ホームページをご確認いただくか、税務納税課課税班までお問い合わせください。

税務納税課 課税班 ☎37-1114

仙台南税務署から
平成25年分年末調整説明会のお知らせ

日時 11月14日(木) 13時30分開始
(受付13時～)
場所 亶理町中央公民館
対象者 山元・亶理町内の給与支払者
※対象者には別途、年末調整関係書類とともに開催日時等を記載した案内文を送付します。
仙台南税務署 法人課税第一部門
☎022-306-8001(内線252)

日本年金機構
からのお知らせ

口座振替で便利!!

国民年金第1号被保険者および任意加入被保険者の平成25年度の1カ月当たりの保険料は15,040円です。

保険料の納付の種類は、以下のとおりです。

国民年金保険料のお支払い方法

◇口座振替
口座振替で納めると手間がかからず、納め忘れを防ぐこともできます。口座振替の手続きは、お近くの年金事務所または金融機関の窓口で受け付けています。

◇クレジットカード納付(継続納付)

クレジットカードにより定期的に納付する方法です。申し込み手続きは、郵送や年金事務所まで受け付けています。詳しくは、お近くの年金事務所へお問い合わせください。
※申込用紙は、年金事務所に備えつけてあるものをご利用いただくか、国民年金保険料クレジットカード納付(変更)申出書(PDFファイル)をインターネットからダウンロードしてください。

◇金融機関、郵便局、コンビニの窓口での納付

日本年金機構からお送りしている納付書を使って、各窓口で納めていただく方法です。お手元に納付書がない時は、お近くの年金事務所までご連絡ください。その他(電子納付)などがあります。
※詳しくは年金事務所へお問い合わせください。

クレジットカードもOK!!

仙台南年金事務所 ☎022-246-5114

視覚支援学校の教育内容を一般の方にもご理解いただくために毎年実施しています。
興味関心のある方、見えにくさで悩んでいる方や関係する方々など、どなたでも来場可能です。お気軽にお問い合わせください。
日時 10月17日(木)
10時～15時
内容 公開授業、視覚補助具や点字等の紹介、全盲・弱視体験
場所 宮城県立視覚支援学校
宮城県立視覚支援学校
教育支援相談部 千葉
☎022-234-6333

山元支援学校文化祭
「やまよう祭」
今年のテーマは「みんなであつなごうやまよう祭」です。地域の皆さん、ぜひお越しください。
日時 10月19日(土)
9時30分～12時
会場 山元支援学校
内容 ステージ発表、作品展示および販売、近隣福祉施設による作品展・販売等
宮城県立山元支援学校
☎37-0518

休日急患当番医

診療時間 9時～17時

※休日における当番医は、急患患者の医療業務のみを目的として実施していますのでご協力をお願いします。なお、休日当番医は変更になることもありますので、新聞などで確認のうえ受診してください。

- 10/6 (日) ◆佐藤外科内科 ☎34-1251 (亶理町)
- ◆たかたく歯科医院 ☎022-384-8841 (名取市)
- ◆紺野歯科クリニック ☎32-0677 (亶理町)

- 10/13 (日) ◆柿沼循環器科 ☎32-2871 (亶理町)
- ◆竹の里歯科・矯正歯科クリニック ☎23-4120 (岩沼市)

- ◆板橋胃腸科肛門科 ☎34-8911 (亶理町)
- 10/14 (月・祝) ◆ライフタウン歯科クリニック ☎022-386-1825 (名取市)
- ◆佐藤歯科・矯正歯科医院 ☎33-0355 (亶理町)

- ◆高橋内科乳腺クリニック ☎33-1121 (亶理町)
- 10/20 (日) ◆山田歯科医院 ☎22-3229 (岩沼市)

- ◆三浦クリニック ☎33-1811 (亶理町)
- 10/27 (日) ◆福澤歯科医院 ☎022-386-3611 (名取市)
- ◆菊地歯科医院 ☎33-8960 (山元町)

- ◆大友医院 ☎34-1335 (亶理町)
- 11/3 (日) ◆鳥羽歯科医院 ☎23-5005 (岩沼市)

- ◆松村クリニック ☎38-0005 (山元町)
- 11/4 (月・祝) ◆那智ヶ丘歯科医院 ☎022-386-5989 (名取市)
- ◆松本歯科医院 ☎37-3771 (山元町)

- ◆熊谷内科医院 ☎34-5140 (亶理町)
- 11/10 (日) ◆上中デンタルクリニック ☎35-7557 (岩沼市)

注)疾患や年齢等によっては対応できない場合がありますのでご了承ください。

連載 第74回 消費生活・これだけは知っておこう!

インターネットトラブル急増中!!

インターネットを利用した犯罪が年々増加し、その手口やトラブルの原因も多様化しています。

最近では、インターネットを利用できる機器がパソコンや携帯電話、スマートフォンだけでなく、ゲーム機や音楽プレーヤー、テレビなど多岐にわたるため、性別・年代を問わず誰にでも起こりうることから、注意が必要です。無料動画サイトなどに安易にアクセスしないようにしましょう。「公式マーケット」でダウンロードした無料アプリからの請求もありますので、ご注意ください。

自分は大丈夫などと思わず、
○アプリを安易にダウンロードしない
○セキュリティー対策は万全に
○子どもが使う場合には、フィルタリングの設定を保護者が確認する。
などの対策を講じ、トラブルを防ぎましょう!!
また、個人情報も安易に入力しないようにしましょう。インターネットの向こう側には悪意を持った人も多いためです。
気づかないうちに会員登録され登録料が請求されているなど、困ったことがありましたら、役場消費生活相談窓口にご相談ください。

☎ 役場消費生活相談窓口(町民生活課 生活班内) ☎37-1112

水道休日当番

- 10/6 (日) ◆木村工事㈱ ☎37-2853

- 10/13 (日) ◆㈱クリワダ ☎37-0013
- 10/14 (月・祝)

- 10/20 (日) ◆㈱佐藤設備 ☎37-4165

- 10/27 (日) ◆㈱針生設備工業 ☎37-2452

- 11/3 (日) ◆㈱松村工業所 ☎38-0558
- 11/4 (月・祝)

- 11/10 (日) ◆㈱ヤマムラ ☎38-0150

複数の修理が入っている場合はすぐに対応できないことがありますので、ご了承ください。

☎ 上下水道事業所 施設班 ☎37-1120

りんごラジオからのお知らせ

りんごラジオ (FM 80.7Mhz) では、通常のラジオ放送のほかインターネットを利用し様々な形で情報を提供しています。

○サイマルラジオ
サイマルラジオは、インターネットを介して放送を配信するため、日本全国・世界中どこからでも聞くことができます。電波の届かない町外居住の方は、ぜひご利用ください。

【接続方法】サイマルラジオ (http://www.simulradio.jp/) にアクセスし、東北エリア内の「りんごラジオ」のスピーカーマークをクリックしてください。

○ブログ
りんごラジオではブログ (http://ringo-radio.cocolog-nifty.com/) を開設し、町の出来事をコメント付きの写真でご紹介しています。

放送時間 ○月～金：8時～18時
○土・日・祝日：10時～17時

※8時・12時・17時に町の情報をお知らせしています。

☎0223-29-4772
✉ringoradio@gmail.com

皆さんからの情報をお待ちしています。どしどし、お寄せください!

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

情報局やまもと

Information

10月15日から11月14日まで

11月

日	月	火	水	木	金	土	
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	

今月の相談

- ◆ **青少年相談** 10月21日(月)
青少年の非行防止のため、問題を抱える青少年や親との相談
- ◆ **登記相談** 11月12日(火)
土地や建物の名義書き換えなど、登記に関する相談
- ◆ **消費生活相談** 11月13日(水)
商品の安全、品質または訪問販売・債務などに関する相談
- ◆ **行政苦情相談** 11月8日(金)
国や県、町などが行っている仕事についての要望や苦情相談
- ◆ **生活相談** 10月16日(水)
生活、家庭、老後などに関する困りごと、悩みごと相談
- ◆ **人権相談** 10月17日(木)
人権侵害、夫婦、親子間のトラブルや、いじめなどの相談
- ◆ **年金相談** 11月14日(木)
国民年金、厚生年金など、年金に関する相談に関する相談や労災・失業保険に関する相談

場所 役場仮庁舎 第1相談室 (1階) 時間 13時～15時 ☎ 町民生活課 生活班 ☎37-1112

- ◆ **健康相談** 11月5日(火) 13時30分～16時
生活習慣予防を中心に、健康づくりに関すること、保健師・栄養士が相談に応じます。
- ◆ **育児相談** 11月5日(火) 10時～11時30分
育児相談に併せて臨床心理士による発達相談を行います。希望者は事前に電話で申し込みください。(発達相談は年4回実施予定です)
- ◆ **精神保健相談** 11月1日(金) 10時～11時30分
心の悩みに伴う無気力や不眠など心身の不調、認知症、アルコール関連相談など、精神科医によるこころの相談を行っています。詳しくは電話でお問い合わせください。

場所 保健センター ☎ 保健福祉課 健康推進班 ☎37-1113

※相談者が重複するとお待ちいただく場合がありますので、事前の電話予約が便利です。

実施場所：保健センター ☎ 保健福祉課 健康推進班 ☎37-1113

事業名	月 日	対象者等	受付時間
母子手帳交付	11月 5日(火)	山元町に住所のある妊婦	9:30～10:00
			13:30～16:00
3歳児健診	11月 6日(水)	平成22年3月～4月生まれ	12:30～13:00
幼児歯科健診	10月17日(木)	平成23年4月～6月生まれ	12:45～13:00
離乳食教室	10月21日(月)	5～6カ月児	10:00～11:30

人口の動き

8月末現在【前月比】

世帯	4,640戸	△20戸
男	6,537(16)人	△24人
女	6,840(30)人	△19人
合計	13,377(46)人	△43人
出生	9人	転入 27人
死亡	12人	転出 68人
婚姻	8件	△：減少

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正により、外国人住民も住民基本台帳の記載対象となりました。上記()内は、うち外国人住民の値。

わが家の王子さま★お姫さま



いのまた まい
猪股 真衣ちゃん(花釜区)

平成 24 年 10 月 24 日 生まれ
お父さん 秀行さん
お母さん 紀代子さん
「いつもニコニコ笑顔で、
元気に大きくなってね」

自慢のお子さん・お孫さんの
写真を掲載してみませんか？

○町内にお住まいの1歳未満のお子さんであればOKです。

○お気に入りの写真を1持参ください。メールでの申し込みでもOKです！

※ご両親の氏名、お子さんの氏名、生年月日、住所、電話番号、お子さんへのメッセージを記入の上、写真を添付してお申し込みください。

【注】画像が粗くなりますので、携帯電話で撮影したものはご遠慮ください。

問・申 総務課 総務班
37-1111
info@town.yamamoto.miyagi.jp



黄色の架け橋プロジェクト
菜の花で被災した方々を笑顔に！

9月15日(日)、これまで本町に派遣され復興支援業務に携わった福岡県行橋市職員ら有志9人が、特産の菜の花の種を手に、本町を訪れました。

皆さんは、巨理清掃センター周辺の除塩作業が完了した被災水田約6・8畝に、塩

害に強い、菜の花の種をまき、一面に咲き乱れる菜の花で「被災した町民の皆さんに笑顔になってもらおう」という取り組み、題して「黄色の架け橋プロジェクト」をスタートさせるために、訪問したものです。

このプロジェクトを企画したのは、今年3月までの4カ月間、同市

から派遣され、産業振興課で被災農地の復興整備事業に携わっていた小堤雅彦さん。小堤さんは、当時

業務で被災農地を目にするたびに悲しい気持ちになり、自分に何かできることはないか自問自答して

いたそうです。そんな時、地元で約12畝もの菜の花栽培に取

組み、毎年春に賑わいを見せる菜の花祭りを主催する「下崎・

長尾・鳥井原営農組合」のことを思い出

し、さっそく相談すると、種の提供など協力することを快諾。これを受け町では、巨理清掃センター周辺の水田地権者の協力を得て、今回のプロジェクトが実現する運びとなりました。

本来であれば、この日、町内の農家とともに現地で種まき作業を行う予定でしたが、あいにくの大雨で残念ながら中止。それでも、急ぎよ準備したプランターに関係者一同で種まきを行い、プロジェクトのスタートを祝いました。

種まきを終えたプランターを眺め、小堤さんは「来春が楽しみ。菜の花を通じて、今後

も末永い交流を続けていきたい」と笑顔で話し、ともに参加した同営農組合の村上すみえ

事務局長は、「被災した方々が菜の花を見て震災で傷ついた心を少し癒してもらえればうれしい」と支援への思いを語っていました。

なお、今回提供を受けた2種類計70キの種は、町内農家の協力により9月25日(水)

に時かれ、来年のゴールデンウィークごろに見ごろを迎える予定です。皆さんお楽しみに！

菜の花プロジェクトが始動！ (右から前列3番目が小堤さん)



菜の花プロジェクトが始動！ (右から前列3番目が小堤さん)



広報やまもと
2013 10 月号
平成 25 年 10 月 2 日 号

編集・発行 山元町役場総務課
〒989-2229
宮城県亘理郡山元町浅生原字作田山32
02237-1111

印刷 ㈱ペナントコーポレーション
※今月号は1部あたり約36円です。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



ホームページ
携帯サイト
メールアドレス

http://www.town.yamamoto.miyagi.jp
http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/k/
info@town.yamamoto.miyagi.jp